平成３１年度　事務事業評価表

17413
特別会計

事務事業名	厚生事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	渋谷　孝士

1．位置づけ･事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
根拠法令	名　称	地方公営企業法
		医療法
		地方公務員法
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2．事務事業の概要

対　象

病院職員

目　的

病院職員が意欲的に働くことのできる環境を整えます。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・各種社会保険料の支払いや共済組合福祉事業に係る事務などを適切に遂行します。
・職員健康診断やストレスチェック検査を実施します。
・医療職員の専門研修や研究を支援します。
・院内託児室を運営します。
・例月の給与等支払いを適正に行います。

成　果（効果･予測）

・福利厚生が整うことで勤労意欲の向上が図れます。
・各種社会保険料の支払いなどの事務手続きが遅滞なく行われます。
・個々の職員のスキルアップにより、病院全体の医療水準が向上します。
・託児室の活用により、子育て中の職員でも安心して働くことができます。
・例月の給与等が遅滞なく支払われます。

課　題

・法定福利厚生の事務に関しまして、資格得喪手続き等に遅れがありました。
・法定外福利厚生の事務に関しては、法定福利厚生の事務が多量であり、その対応に多くに時間を要していることや、財源負担の問題などから必要最低限度となっています。

総事業費　（単位：千円）

	30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
事業費	788,182	783,157	874,109
人件費	31,505	27,750	27,750
総事業費	819,687	810,907	901,859

2年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	874,109
一般財源	0
合　計	874,109

3．活動内容

活動指標1

名称	託児室の収支改善額		単位	千円
内容説明	託児室事業収益－託児室事業費			
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定	△50,000	△55,000	△50,000	
実　績	△52,791	△45,855	―――	

活動指標2

名称	宿舎借り入れ事業の収支改善額		単位	千円
内容説明	職員宿舎使用料－医師住宅・看護師宿舎借上げ料			
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定	△38,000	△38,000	△30,000	
実　績	△38,643	△39,558	―――	

活動指標3

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標4

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

4．今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	**Ⅱ：見直しのうえで継続**
	託児室の運用方法について、引き続き検討を進めます。					

平成３１年度　事務事業評価表

17414
特別会計

事務事業名	施設維持管理事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	渋谷　孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
根拠法令	名　称	医療法
		地方公営企業法
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

病院の施設全般

目　的

施設を適正に維持管理することにより、より良い医療を提供できる体制を整えます。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・計画に基づいた適正な施設の維持管理、修繕を行います。
・競争原理を生かした入札手法により、経費を削減します。

成　果（効果・予測）

・いつでも安心して治療が受けられる施設を維持することができます。

課　題

・施設を維持するためには膨大な費用がかかります。
・劣化状況を踏まえて、優先度の高いものから大規模な施設改修を計画・実施する必要があります。
・メーカー独自技術による設備が多く、競争原理を活かした入札手法を行うことの難しさがあります。

総事業費　（単位：千円）

	30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
事業費	1,610,819	1,830,048	1,860,891
人件費	21,868	24,050	24,050
総事業費	1,632,687	1,854,098	1,884,941

2年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	1,860,891
一般財源	0
合　計	1,860,891

3. 活動内容

活動指標1

名称	施設、設備にかかる経費		単位	千円
内容説明	施設、設備を適正に維持、管理します。			
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定	645,070	661,736	698,718	
実　績	540,568	605,709	―――	

活動指標2

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標3

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標4

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅰ：現状のまま継続	30年度	Ⅰ：現状のまま継続	31年度	**Ⅰ：現状のまま継続**

施設の老朽化対策の緊急度が総じて増している中で、予算を鑑みながら優先順位を見極め、短期的に解決すべき事案と日常の保守で延命できる事案とを判断して対応します。

平成３１年度　事務事業評価表

17415
特別会計

事務事業名	施設整備事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	渋谷　孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
根拠法令	名　称	医療法
		地方公営企業法
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

病院施設及び医療機器

目　的

・医療環境の適正な整備を行うことにより、より良い医療を提供できる体制を整えます。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・計画に基づいた施設の整備を行います。
・競争性を踏まえた調達により、経費を抑えた医療機器の導入を図ります。

成　果（効果・予測）

・適正な施設整備により、いつでも安心して治療が受けられる病院施設が整備されます。

課　題

・設備の適正な稼働を保持するためには、ある程度の費用が必要となります。（高度医療機器とその保守）
・医療機器の保守については、フルメンテナンスが有利なものと、スポット対応が可能なものを精査し、有利な契約方法について検討します。

総事業費　（単位：千円）

	30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
事業費	2,566,705	930,511	1,373,937
人件費	16,679	16,650	16,650
総事業費	2,583,384	947,161	1,390,587

2年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	1,373,937
一般財源	0
合　計	1,373,937

3. 活動内容

活動指標1

名称	医療機器の整備		単位	千円
内容説明	適正な予定価格の設定を行い経費の削減を図ります。			
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定	1,951,696	30,000	50,000	
実　績	1,790,462	28,765	―――	

活動指標2

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標3

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

活動指標4

名称			単位	
内容説明				
指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度	
予　定				
実　績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	Ⅰ：現状のまま継続	30年度	Ⅰ：現状のまま継続	31年度	Ⅰ：現状のまま継続
	施設の老朽化対策と医療機器の計画更新の双方を見極め、病院機能を維持します。					

平成３１年度　事務事業評価表

17416
特別会計

事務事業名	人事管理事業			
事務事業担当	部　名	課　名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	渋谷　孝士

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
根拠法令	名　称	地方公営企業法
		医療法
		地方公務員法
当該事業の法令等による義務付けの有無		有

事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
			設定無し

2. 事務事業の概要

対　象

病院職員

目　的

病院業務に必要な人員を確保するとともに、適切に人員を配置します。

手段、手法【実施手法： 直営　】

・職員定数管理を行います。
・職員の採用・退職に係る事務を行います。
・職員の処遇管理を行います。
・労働時間の短縮等、勤務環境整備のための取り組みを促進します。

成　果（効果・予測）

いつでも安心して治療を受けることができる体制が整います。

課　題

病床機能の分化・連携や勤務環境の改善、各分野における専門性の追及など、医療を取り巻く環境が著しく変化していることから、人事事務では、状況に応じた迅速かつ適正な対処が求められています。
医師の働き方改革などへの適切な対応が求められています。

総事業費　（単位：千円）

	30年度（決算額）	31年度（決算額）	2年度（予算額）
事業費	43,123	39,779	43,158
人件費	31,505	28,490	28,490
総事業費	74,628	68,269	71,648

2年度事業費（予算額）財源内訳

国支出金	0
県支出金	0
市債	0
その他	43,158
一般財源	0
合　計	43,158

3. 活動内容

活動指標1

名称	医師の充足数		単位	人
内容説明	各診療科で必要と思われる医師数			

指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度
予　定	93	93	90
実　績	90	89	―――

活動指標2

名称		単位	
内容説明			

指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度
予　定			
実　績			―――

活動指標3

名称		単位	
内容説明			

指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度
予　定			
実　績			―――

活動指標4

名称		単位	
内容説明			

指標値	30年度	31年度（当該年度）	2年度
予　定			
実　績			―――

4. 今後の方針等

29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	**Ⅱ：見直しのうえで継続**

今後の方針等

病院事業の根幹は人材の確保にあることから、働き方改革を踏まえた勤務環境の整備等の取り組みを実施していきます。